

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科

国語

科目 論理国語

教科： 国語

科目： 論理国語

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ C 組

教科担当者： (A組： 保倉) (C組： 保倉)

使用教科書： (大修館書店『論理国語』)

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。	文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。	身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	学	配 当 時 数
		話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元 共同体のいま 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 家族化するペット ・一人1台端末の活用 等	○	○	○				12
	定期考査					○	○	○	1
	B 単元 日本語の多様性 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 敬語への自覚、他者への自覚 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○				13
定期考査						○	○	○	1
2 学 期	C 単元 思考の枠組み 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 スキーマと記憶 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○				14
	定期考査					○	○	○	1

	定期考査								○	○	○	1
	D単元 思考の枠組み 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 山月記 ・一人1台端末の活用 等						○	○	○	17	
	定期考査								○	○	○	1
3 学 期	E単元 社会の原点 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 分かち合う社会 ・一人1台端末の活用 等						○	○	○	17	
	定期考査								○	○	○	1
										計	78	

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科

国語

科目 教養国語

教科： 国語

科目： 教養国語

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組

教科担当者： (保倉)

使用教科書：

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 教養国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	学	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	単元 漢字の音訓について 【知識及び技能】 ・漢字の成り立ちを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の文化的な背景を理解し、自分で新しい漢字を作成するなど表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文の学習に興味をもち、物語の展開や話のおもしろさを理解しようとしている。	○	○	○	4
	単元 漢字の部首について 【知識及び技能】 ・漢字の成り立ちを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の文化的な背景を理解し、自分で新しい漢字を作成するなど表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文の学習に興味をもち、物語の展開や話のおもしろさを理解しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○	○	1
	単元 ことわざ・故事成語 【知識及び技能】 ・現代文、古文、漢文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、作者の感覚や、作者の人物像をとらえようとしている。	○	○	○	5

3 学 期	<p>単元 敬語</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代文、古文、漢文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品や文章の成立した背景や他の作品との関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文から現代に生きる言葉や考え方について理解しようとしている。 	○	○	○	4
	<p>単元 日本語を使いこなす</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代文、古文、漢文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品や文章の成立した背景や他の作品との関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「蛇足」から現代に生きる言葉や考え方について理解しようとしている。 	○	○	○	8
	<p>単元 ディベート</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代文、古文、漢文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品や文章に表れているもの感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然や人生をうたった漢詩に興味をもち、表現の特徴を理解しようとしている。 	○	○	○	5
	定期考査						○	○	○	1
									計	78

足立 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科

地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A・C 組

教科担当者： (A組：志賀) (C組：志賀)

使用教科書： (高校生の地理総合 帝国書院)

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 世界と日本について、地勢と地勢から展開する歴史を、総合的もたらえて基礎的知見を得る。
- 【思考力、判断力、表現力等】 上記で獲得した基礎的知見を、世界と日本について、地勢と地勢から展開する歴史を、多面的・多角的に考察する。
- 【学びに向かう力、人間性等】 上記をふまえて、現代に通暁する諸課題を認識し、自身の問題として自覚化する。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界と日本について、地勢と地勢から展開する歴史を、総合的もたらえて基礎的知見を得る。	上記で獲得した基礎的知見を、世界と日本について、地勢と地勢から展開する歴史を、多面的・多角的に考察する。	上記をふまえて、現代に通暁する諸課題を認識し、自身の問題として自覚化する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 学			配当 時数
				知	思	学	
1 学期	A 単元 地図や地理情報システム でとらえる現代世界 【知識及び技能】 地図や地理情報システムの種類や見 方、利用の仕方について、必要な知 識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 地図から各地域が抱える課題を抽出 し、洞察する力を養成する。 【学びに向かう力、人間性等】 上記で抽出した課題を自分の問題と して自覚化し得る力をつける。 定期考査	・指導事項 地図帳や教科書に沿った知識・課題 ・教材 プリント教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 地図について種々の知識を獲得し得たか。 【思考・判断・表現】 地図から各地域の課題を抽出し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 抽出した各地域の課題を自分の問題として考 察し得たか。	○	○	○	8
	B 単元 結びつきを深める現代世界 【知識及び技能】 国家間の結びつきの契機と要因につ いて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国家間の結びつきのきっかけや原因 を多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国家間の結びつきの中における日本 の位置を自覚化する。	・指導事項 地図帳や教科書に沿った知識・課題 ・教材 プリント教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 国家間の結びつきについてきちんと知識が定 着したか。 【思考・判断・表現】 国家間の結びつきについて多角的に考えられ たか。 【学びに向かう力、人間性等】 国家間の結びつきの中における日本の位置に ついて自分の問題として自覚化できたか。	○	○	○	11
	C 単元 国際理解と国際協力 【知識及び技能】 世界の地形・気候と人々の生活につ いて知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 地形と気候がいかに人々の生活を規 定するのかを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 地形と気候がもたらす事柄を自分の こととして認識する。 定期考査	・指導事項 地図帳や教科書に沿った知識・課題 ・教材 プリント教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 世界の地形・気候と人々の生活についての知 識を獲得できたか。 【思考・判断・表現】 世界の地形・気候と人々の生活の連関性を理 解し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の地形・気候が人々の生活にもたらす影 響を知り、自分をとりまく環境に思いをめぐ らすことができたか。	○	○	○	6
2 学期	C 単元 世界の産業・宗教・民族・ 言語と人々の生活 【知識及び技能】 世界の産業・宗教・民族・言語と 人々の生活の知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の産業・宗教・民族・言語がい かに人々の生活を規定するかを理解 する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の産業・宗教・民族・言語と 人々の生活の関係性を知り、自分を とりまく世界に思いを致す。	・指導事項 地図帳や教科書に沿った知識・課題 ・教材 プリント教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 世界の産業・宗教・民族・言語と人々の生活 の知識を獲得できたか。 【思考・判断・表現】 世界の産業・宗教・民族・言語と人々の生活 の連関性を理解し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の産業・宗教・民族・言語と人々の生活 についての学びを、自分をとりまく世界に自 覚化できたか。	○	○	○	10
	D 単元 地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 地球的課題について、人口問題・食 料問題・都市問題等の諸問題の知識 を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 人口問題・食料問題・都市問題等が どのように問題化するのかを考察す る力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 人口問題・食料問題・都市問題等を 自分をとりまく問題として自覚化す る。 定期考査	・指導事項 地図帳や教科書に沿った知識・課題 ・教材 プリント教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 人口問題・食料問題・都市問題等の諸問題が いかに地球的課題になっているかについて知 識を獲得し得たか。 【思考・判断・表現】 人口問題・食料問題・都市問題等の要因・現 状・未来展望について考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 人口問題・食料問題・都市問題等の解決策に ついて自分の問題として自覚化し得たか。	○	○	○	8
	D 単元 地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 地球的課題について、感染症・衛生 問題・資源・エネルギー問題等の諸 問題の知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 感染症・衛生問題・資源・エネル ギー問題等がどのように問題化する のかを考察する力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 感染症・衛生問題・資源・エネル ギー問題等を自分をとりまく問題と して自覚化する。 定期考査	・指導事項 地図帳や教科書に沿った知識・課題 ・教材 プリント教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等 の諸問題がいかに地球的課題になっているの かについて知識を獲得し得たか。 【思考・判断・表現】 感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等 の要因・現状・未来展望について考察し得た か。 【学びに向かう力、人間性等】 感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等 の解決策について自分の問題として自覚化し 得たか。	○	○	○	13
				○	○	○	1

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ C 組

教科担当者： 福地

使用教科書：（新 高校の数学A（数研出版））

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数	
1 学期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	1. 集合	【知識・技能】 ○共通部分、和集合、空集合、全体集合、補集合など集合に関する用語を理解し、それらを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○条件を満たすものを集合の要素として考え、表すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○集合の考えについて興味をもち、いろいろな集合を表そうとする。	○	○	○	2
		2. 集合の要素の個数	【知識・技能】 ○集合の要素の個数を、数え上げることで求めることができる。 ○補集合や和集合の要素の個数の公式を理解し、それらを用いて要素の個数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○ものを数え上げるのに集合を利用して考察することができる。 ○ベン図を利用して集合を図示することで、補集合や和集合の要素の個数を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○ベン図や公式を利用することで、集合の要素の個数を数学的に数えようとする。	○	○	○	3
		3. 和の法則と積の法則	【知識・技能】 ○樹形図を用いたり順序だてて並べたりすることで、場合の数をもれなく重複なく数えることができる。 ○和の法則や積の法則の利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○和の法則を、表を利用することで、また積の法則を、樹形図の特別な場合として考察することで見いだすことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○場合の数を求めるのに、効率的に考えることができる法則（和の法則・積の法則）があることに興味をもち、使いこなそうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	4. 順列	【知識・技能】 ○順列の意味を理解し、公式を利用することができる。 ○簡単な場合の数を、順列の考えを利用して求めることができる。 ○すべてを取った順列の総数から得られる階乗とその記号を理解し、これを活用できる。 ○様々な場合の数を、順列、円順列、重複順列に帰着させて求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○となりあう場合の順列のような、特殊な条件が付く順列を、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 ○既知の順列や積の法則をもとにして、円順列、重複順列を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○様々な場合の数を求めるのに、順列の考え方が使えることに興味・関心をもつ。 ○順列、円順列、重複順列の違いを見い出そうとしている。	○	○	○	6	

	5. 組合せ	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○組合せの意味を理解し、公式を利用することができる。 ○簡単な場合の数を、組合せの考えを利用して求めることができる。 ○組合せの性質を理解し、公式を利用することができる。 ○様々な場合の数を、組合せの考えを利用して求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○組合せの総数と順列の総数の関係を理解し、順列の総数をもとにして、組合せの総数を考察することができる。 ○特殊な条件が付く組合せを、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○順列と組合せの違いや、様々な場合の数を求めるのに、組合せの考え方が使えることに興味・関心をもつ。 ○組合せの考え方を利用して、図形の個数や遠回りをしない道順などの具体的な事象の場合の数を求めようとする。 	○	○	○	6
第2節 確率 確率の意味と確率を求めるときの基本的な法則や考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	1. 事象と確率	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○試行の結果としての事象を集合として表すことができる。 ○確率の定義を理解し、簡単な確率を求めることができる。 ○確率の性質を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○試行の結果を事象としてとらえ、事象を集合と結びつけて考察することができる。 ○ものごとの起こりやすさを、同様に確からしいという概念をもとに数量的に考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○さいころを何回も投げる実験において、ある目が出る割合が一定の値に近づくことに興味をもち、その値の求め方を考えようとする。 ○ものごとの起こりやすさを、数値を使って計算で求めようとする。 	○	○	○	4
定期考査			○	○	○	1
2 学期	2. 確率の計算	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○表や組合せの考えを活用して、確率を求めることができる。 ○排反事象の意味を理解し、確率を求めることができる。 ○余事象の意味を理解し、確率を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○排反事象や余事象の確率などを利用して、複雑な事象の確率を考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでに学んだ確率の性質を利用して、いろいろな場合の確率を意欲的に求めようとする。 	○	○	○	6
	3. 独立な試行と確率	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○試行が独立か、独立でないかを判断することができる。 ○独立な試行の確率を、公式を用いて求めることができる。 ○反復試行の確率を、公式を用いて求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○独立な試行の確率を、具体的な例から直観的に考えることができる。 ○反復試行の意味を理解し、確率の求め方を組合せの考えと関連付けて考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○独立な試行の確率や反復試行の確率について、興味をもって求めようとする。 	○	○	○	4
	4. 条件つき確率	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○条件つき確率の定義を理解し、確率を求めることができる。 ○確率の乗法定理を理解し、確率を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○確率の乗法定理を利用することで、くじを引くときの順番には当たる確率は関係がないことを理解し、説明することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○条件つき確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心をもち、活用しようとする。 ○確率の乗法定理を活用して、「くじを引く順番と確率」といった身近な確率の問題解決に積極的に取り組もうとする。 	○	○	○	4
	5. 期待値	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○期待値について理解し、いろいろな場合の期待値を求めることができる。 ○損得判断をするときに、期待値を判断材料の1つとして利用することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○期待値を、確率の考えに基づいて考察することができる。 ○損得を考える際に、期待値をどのように活用すればよいかを判断し、説明することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○賞金や得点などの期待を、客観的な数値で表すことに興味をもち、期待値を求め、考察しようとする。 	○	○	○	3

定期考査			○	○	○	1
第2章 図形の性質 第1節 平面図形 平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	1. 図形の基本	<p>【知識・技能】 ○図形の基本性質を理解し、それらを用いて角の大きさや辺の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○角の大きさや辺の長さを求めるのに、図形のどの基本性質を使えばよいか判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○図形の基本的な性質について既に学んだ事項を思い出し、それらを活用できる場面を見いだそうとしている。</p>	○	○	○	2
	2. 角の二等分線と線分の比	<p>【知識・技能】 ○角の二等分線と線分の比の定理を理解し、それを用いて辺や線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○角の二等分線と線分の比の定理を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○外角の二等分線についても内角の場合と同様の定理が成り立つことに興味をもつ。</p>	○	○	○	2
	3. 三角形の外心・内心・重心	<p>【知識・技能】 ○三角形の外心・内心・重心の定義とその性質を理解し、それらを用いて角の大きさや線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○三角形の外心・内心・重心の性質を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○三角形の外心・内心・重心に関する性質に興味をもち、考察しようとする。</p>	○	○	○	4
	4. 円周角の定理	<p>【知識・技能】 ○弧、弦、円周角、中心角など円に関する用語を理解している。 ○円周角の定理を理解し、角の大きさを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○円周角の定理の逆を理解し、等しい角に着目して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○中学校で学んだ円周角の定理とその逆を思い出し、それらを活用しようとしている。</p>	○	○	○	2
	5. 円に内接する四角形	<p>【知識・技能】 ○円に内接する四角形の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○円に内接する四角形の性質やその逆を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 ○四角形が円に内接する条件について、対角に着目して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○四角形が円に内接する条件に興味をもち、考察しようとする。</p>	○	○	○	2
	6. 円の接線	<p>【知識・技能】 ○接線と弦のつくる角の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。 ○円の接線の長さが等しいことを理解し、辺や線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○円と直線を動的にとらえて、それらの位置関係を考察することができる。 ○接線と弦のつくる角の性質を証明する際に、場合分けをしながら考察することができる。 ○円の接線の長さが等しいことを証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○円の接線にはいろいろな性質があることを知り、それぞれの性質と活用法について興味をもつ。</p>	○	○	○	2
定期考査			○	○	○	1
3学期	7. 方べきの定理	<p>【知識・技能】 ○方べきの定理を理解し、線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○方べきの定理を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○相似を利用した方べきの定理の導き方に興味をもつ。</p>	○	○	○	3
	8. 2つの円	<p>【知識・技能】 ○2つの円の位置関係には5つのパターンがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ○5つの円の位置関係を、動的な視点によって観察・分類することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○2つの円の位置関係について、中心間の距離と半径の関係を積極的に考察しようとする。</p>	○	○	○	2
	9. 作図	<p>【知識・技能】 ○中学校で学んだ基本的な作図を行うことができる。 ○円の接線を、基本的な作図の組み合わせによって描くことができる。 【思考・判断・表現】 ○さまざまな図形を、基本的な作図の組合せによって描くことができることを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○コンパスと定規を使って作図に積極的に取り組もうとする。 ○作図に対して、なぜそれが正しいか考え、説明しようとする態度がある。</p>	○	○	○	5

<p>第2節 空間図形 空間図形の性質についての理解を深め、それらを観察したり考察したりすることで、空間認識力の育成を図る。</p>	<p>1. 空間の直線、平面</p>	<p>【知識・技能】 ○2直線の関係、直線と平面の関係、2平面の関係には3種類ないしは2種類あることを理解し、それらの位置関係を示すことができる。 ○2直線のなす角、直線と平面の垂直条件、2平面の位置関係について理解し、角の大きさやそれらの関係性を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○直線と平面が垂直になるための条件を、本を立てたときの状態に当てはめるなど具体的な事例によって考察することができる。 ○直線や平面が平行または垂直となるかどうかを、立方体を例として考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○直線や平面の位置関係にはさまざまな状態があることに興味をもち、それらの性質を理解しようとする。</p>	○	○	○	3
	<p>2. 正多面体</p>	<p>【知識・技能】 ○多面体や正多面体の定義を理解し、それらの頂点、辺、面の数を求めることができる。 ○正多面体の特徴を理解し、正多面体が5種類のみであることを知っている。 【思考・判断・表現】 ○多面体の頂点、辺、面の数に関して成り立つ性質を具体的な例によって確認し、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○多面体に関して成り立つ性質について興味をもち、その性質を確認しようとしている。</p>	○	○	○	3
	<p>3. 立体の切断</p>	<p>【知識・技能】 ○立体を平面で切り取ったときの切り口の形や切り取られてできる立体について、どのような形状になるかを理解している。 【思考・判断・表現】 ○立体の切り取り方によって切り口の形が異なることや、そのときの切り口の特徴について説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○立体の切り口の形がどのようなものかについて興味をもち、その特徴を見つけ出そうとしている。</p>	○	○	○	1
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
						合計 78

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～C組

教科担当者：（A組：塚原）（C組：塚原）

使用教科書：（ /版生物基礎【啓林館】 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数	
1 学期	現存する多様な生物には共通性があり、その共通性は共通の起源をもつこと由来することがわかる。 細胞が基本単位であることがわかる。	第1部生物の特徴 ・生物の多様性と共通性 ・生物の進化と系統 ・真核細胞の構造 ・原核細胞の構造	【知識・技能】生物群の系統樹上での類縁関係がわかる。多様な生物の共通点がある。細胞小器官の名称と働きを理解し、原核生物と真核生物の共通点と相違点がわかる。 【提出課題、定期考査】 【思考・判断・表現】生物としての共通の特徴をあげることができ、多様な生物群が単一の共通先祖に由来すると考えることができる。細胞小器官の名称と働きを理解し、原核生物と真核生物の共通点と相違点を考えることができる。 【提出課題、定期考査】 【学びに向かう力、人間性等】多様な生物に関心を持ち、形態や生活の多様さを知らうとする意欲を持っている。細胞小器官の特徴と働きに注目する。 (行動観察、提出課題)	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	生命活動に必要なエネルギーとATPについてわかる。 光合成によって光エネルギーを用いて有機物がつくられ、呼吸によって有機物からエネルギーが取り出されることがわかる。	第1部生物の特徴 ・生命活動とエネルギー ・ATPの構造 ・生体内の化学反応と酵素 ・光合成と呼吸	【知識・技能】ATPが果たす役割について理解する。酵素反応の特徴を理解できる。光合成の場である葉緑体と呼吸の場であるミトコンドリアを理解する。 【提出課題、定期考査】 【思考・判断・表現】代謝におけるエネルギーについて考えることができる。酵素の働きについて考えることができる。細胞内での光合成の場と呼吸の場を葉緑体やミトコンドリアと関連させることができる。 【提出課題、定期考査】 【学びに向かう力、人間性等】生命活動に必要なエネルギーと代謝について調べようとする。ATPとエネルギーの移動、酵素の役割について関心を持つ。光合成と呼吸の反応とエネルギーの転換を関連させて考えることができる。 (行動観察、提出課題)	○	○	○	13
定期考査			○	○	○	1	
2 学期	DNAが塩基の相補性に依存して二重らせん構造をもち、塩基の配列が遺伝情報となることわかる。 体細胞分裂では、分裂前に母細胞のDNAと同じ塩基配列のDNAが作られることがわかる。 転写と翻訳における塩基配列からアミノ酸配列への情報の流れがわかる。また、タンパク質が酵素として働くことで、生命現象を支えていることがわかる。	第2部遺伝子とその働き ・DNAの構造と遺伝情報 ・DNA複製 ・転写と翻訳	【知識・技能】DNAの二重らせん構造と塩基の相補性の重要性が理解できる。転写と翻訳の過程を理解し、遺伝情報が転写されたmRNAの役割を理解することができる。タンパク質が生命現象と関連して多様な働きをしていると考えることができる。 【提出課題、定期考査】 【思考・判断・表現】DNAの二重らせん構造における塩基配列が遺伝情報となると考えることができる。母細胞のDNAの複製は塩基配列の相補的な複製であることが表現できる。遺伝情報である塩基配列が、アミノ酸配列に翻訳されると考えることができる。 【提出課題、定期考査】 【学びに向かう力、人間性等】遺伝子が親から子へと伝えられる因子であること、DNAの特徴について関心をもち考えようとする。RNAとタンパク質の構造、および転写と翻訳のしくみに関心を持つ。ゲノム医療など最新の医学的話題にも関心を持つ。 (行動観察、提出課題)	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
	病原菌などの異物を認識、排除して体内環境を守るしくみがわかる。 非特異的な自然免疫の反応がわかる。 体液性免疫と細胞性免疫のそれぞれのしくみがわかる。 免疫が実際の病気とどのように関わっているのかわかる。	第3部ヒトの体の調節 ・生体防御の概要 ・自然免疫のしくみ ・獲得免疫のしくみ ・免疫と病気	【知識・技能】生体防御には異物に対する防御と自然免疫、獲得免疫があることを理解する。生体に異物が侵入してから起こる経過を体液性免疫と細胞性免疫にかけて理解する。予防接種、ワクチンと免疫の関係がわかる。 【提出課題、定期考査】 【思考・判断・表現】自然免疫を獲得免疫と対比させて考えることができる。体液性免疫と細胞性免疫を説明できる。アレルギーなどの免疫反応を例をあげて説明できる。 【提出課題、定期考査】 【学びに向かう力、人間性等】免疫のしくみに関心を持つ。予防接種や感染症との関連も含めて、免疫に関する話題に興味を持つ。 (行動観察、提出課題)	○	○	○	16
定期考査			○	○	○	1	

3 学 期	多様な植生が成立する要因には植物の環境への適応が関わっていることがわかる。陸上の植生が移り変わっていくこととその要因がわかる。気温と降水量の違いによって、地球上ではさまざまなバイオームが成立していることがわかる。生態系の成り立ちとバランスについて理解する。	第4部生物の多様性と生態系 ・環境と生物 ・遷移の過程 ・遷移と世界のバイオーム ・生態系における生物の役割 ・種の多様性と食物連鎖 ・生態系と生態ピラミッド ・生態系のバランスと変動	【知識・技能】 土壌にすむ動物を観察することができる。生態系を食物連鎖の関係で把握することができる。それぞれの量的関係を理解できる。 (提出課題、定期考査) 【思考・判断・表現】 生態系の成り立ちと構成要素について具体的な生物をあげて考えることができる。生態系のバランスについて考えることができる。外来生物の影響について考えることができる。 (提出課題、定期考査) 【学びに向かう力、人間性等】 生態系をどのように把握できるか関心を持っている。生態系に与える人間生活の影響について関心をもっている。 (行動観察、提出課題)	○	○	○	17	
	定期考査			○	○	○	1	
							合計	78

足立 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組・C組

教科担当者：（A組：澤野、北川、益田）（C組：澤野、北川、益田）

使用教科書：（大修館 現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるように理解するため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
<p>体づくり運動</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な体ほぐしの運動を考え、実践する力を身につけること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手軽な運動、律動的な運動など、運動の内容や方法を自分で考えること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「体ほぐし」の意義を理解し、自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション 体育理論 体ほぐし運動 体力テスト 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な体ほぐしの運動を考え、実践する力を身につけている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手軽な運動、律動的な運動など、運動の内容や方法を自分で考えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「体ほぐし」の意義を理解し、自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとする態度を養おうとしている。 	○	○	○	5
<p>球技(ゴール型・バスケットボール)</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安定したボール操作や空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなど、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。②味方が操作しやすいパスを送ること。③守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。④ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れること。⑤パスを出した後に次のパスを受ける動きをすること。⑥ボール保持者が進行できる空間を作りだすために、進行方向から離れること。⑦ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ること。⑧ゴール前の空いている場所をカバーすること。</p>	<p>【知識・技能】 ①バスケットボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③安定したボール操作や状況に応じたボール操作、チームメイトと連携して空間を作り出す動きや空間を埋める動きなどをゲームで行うことができた。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ①分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えようと、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。</p>	○	○	○	7
実技テスト			○	○	○	2
<p>球技(ネット型・バドミントン)</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなど、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。</p>	<p>【知識・技能】 ①バドミントンの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ①分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えようと、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。</p>	○	○	○	11
実技テスト			○	○	○	2

<p>球技(ネット型・卓球)</p> <p>【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。</p>	<p>【知識・技能】①卓球の技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。</p> <p>【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解しうえて、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>11</p>
実技テスト		<p>○ ○ ○</p>	<p>2</p>	
<p>球技(ネット型・卓球)</p> <p>【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。</p>	<p>【知識・技能】①卓球の技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。</p> <p>【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解しうえて、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>11</p>
実技テスト		<p>○ ○ ○</p>	<p>2</p>	
<p>球技(ゴール型・アルティメット)</p> <p>【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】安定したディスク操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①エンドゾーン内にパスをコントロールすること。②味方が操作しやすいうパスを送ること。③守備者とディスクの間に自分の体を入れてボールをキープすること。④ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れること。⑤パスを出した後に次のパスを受ける動きをすること。⑥ゴールとディスク保持者を結んだ直線上で守ること。</p>	<p>【知識・技能】①アルティメットの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③安定したディスク操作やエンドゾーン前での攻防を展開するためのディスク操作と空間に走りこむなどの動きをゲームで行うことができた。</p> <p>【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解しうえて、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>9</p>
実技テスト		<p>○ ○ ○</p>	<p>2</p>	

2 学 期 ・ 3 学 期	球技(ネット型・テニス) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術を仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】①テニスの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【学びに向かう力、人間性等】①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解し、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	9
	実技テスト			○	○	○	2
3 学 期	陸上競技 【知識及び技能】 ・自分にあったペースを維持して一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり競走したりすることができること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・速く走るための動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫し、自己の考えたことを他者に表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切に使用することなどや、健康・安全を確保する態度を養う。	・シャトルラン ・持久走 ・体育理論	【知識及び技能】 ・自分にあったペースを維持して一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり競走したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・速く走るための動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫し、自己の考えたことを他者に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切に使用することなどや、健康・安全を確保する態度を養おうとしている。	○	○	○	3
							合計 78

足立 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 ステップアップスポーツ

教科： 保健体育 科目： ステップアップスポーツ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組 ・ C 組

教科担当者： （A組：澤野、北川） （C組：澤野、北川）

使用教科書： （大修館 現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 ステップアップスポーツ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	球技(ゴール型・バスケットボール) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。②味方が操作しやすいパスを送ること。③守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。④ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れること。⑤パスを出した後に次のパスを受ける動きをすること。⑥ボール保持者が進行できる空間を作りだすために、進行方向から離れること。⑦ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ること。⑧ゴール前の空いている場所をカバーすること。	【知識・技能】①バスケットボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会のおこない方を理解することができた。③安定したボール操作や状況に応じたボール操作、チームメイトと連携して空間を作り出す動きや空間を埋める動きなどをゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	25
	実技テスト			○	○	○	2
1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	球技(ネット型・バドミントン) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】①バドミントンの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームのおこない方を工夫することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	31
	実技テスト			○	○	○	2

1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	<p>球技(ネット型・卓球)</p> <p>【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。</p>	<p>【知識・技能】①卓球の技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をゲームで行うことができた。</p> <p>【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。</p>	○	○	○	16
	実技テスト			○	○	○	2
							78

足立 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 芸術（美術） 科目 造形表現と鑑賞

教科： 芸術（美術）

科目： 造形表現と鑑賞

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ 組

教科担当者： （ A 組： 大塩 ） （ 組： ）

使用教科書： （ ）

教科 芸術（美術）

の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各項目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 造形表現と鑑賞

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	学	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ 映							
A 題材 オリジナルのロゴをつくろう (レタリング) 【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や形態などの表現を工夫し、主題を追求しあらわしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組もうとしている。	・指導事項 ○レタリングの練習（明朝体） ○ロゴのデザイン（色彩・形） ・教材 ○鉛筆、消しゴム、ケント紙、参考作品、定規、アクリル絵具等 ・書画カメラ			○						14
B 題材 和の文様を生かしたレリーフをつくろう 【知識及び技能】 ・レリーフの各技法についての知識・理解を深める。 ・和の文様についての知識・理解を深める。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し主題を追求して創造的にあらわしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の思いや感情から主題を生成し、形、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に、自分の思いや感情などをもとにした表現の創作活動に取り組もうとしている。 ・主体的に、他者の作品のよさや意図を感じ取り、言語化しようとしている。	・指導事項 ○レリーフ（浮き彫り）の各技法の演習 ○レリーフのデザイン ・教材 ○鉛筆、消しゴム、板、参考作品、下描き用紙、トレーシングペーパー、カーボン紙、彫刻刀など ・書画カメラ			○	○					13

2 学 期	C 題材 理想の部屋を描こう (一点透視図法) 【知識及び技能】 ・一点透視図法および二点透視図法について理解する。 ・主題を追求して創造的にあらわしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、一点透視図法を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に課題に取り組み、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。	・指導事項 ○一点透視図・二点透視図の作図練習 ○理想の部屋のアイデアスケッチ ○理想の部屋の作図 ・教材 ○鉛筆、消しゴム、参考作品、定規、色鉛筆、参考資料など ・書画カメラ	○	○	【知識及び技能】 ・一点透視図法および二点透視図法を理解している。 ・主題を追求して創造的にあらわすことができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、一点透視図法を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に課題に取り組み、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組んでいる。	○	○	○	19
	D 題材 等角投影図法で不思議な空間をつくろう(投影図) 【知識及び技能】 ・等角投影図法について、その効果を理解する。 ・主題を追求して創造的にあらわしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、等角投影図法を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に課題に取り組み、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。	・指導事項 ○等角投影図法の作図練習 ○等角投影図法のアイデアスケッチ ○等角投影図法の作図 ・教材 ○鉛筆、消しゴム、参考作品、定規、色鉛筆、参考資料など ・書画カメラ	○		【知識及び技能】 ・等角投影図法について、その効果を理解している。 ・主題を追求して創造的にあらわすことができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、等角投影図法を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に課題に取り組み、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組むことができている。	○	○	○	14
3 学 期	E 題材 私のお気に入りの場所 (風景画) 【知識及び技能】 ・アクリルガッシュの技法を理解し、主題を追求しあらわしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自ら選んだ風景から場の雰囲気などを感じ取り、作品制作に生かしている。 ・作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、その心情や創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にモチーフを選択し、感じ取った雰囲気などをもとにして創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、その心情と作品との関係などについて考える鑑賞活動に取り組む。	・指導事項 ○モチーフの写真撮影 ○風景画の制作 ○アクリルガッシュの使い方 ・教材 ○鉛筆、消しゴム、定規、写真、アクリルガッシュ、画用紙、教科書など ・書画カメラ	○	○	【知識及び技能】 ・アクリルガッシュの技法を理解し、主題を追求しあらわすことができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自ら選んだ風景から場の雰囲気などを感じ取り、作品制作に生かすことができている。 ・作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、その心情や創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にモチーフを選択し、感じ取った雰囲気などをもとにして創造活動に取り組むことができている。 ・主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、その心情と作品との関係などについて考える鑑賞活動に取り組むことができている。	○	○	○	18
									合計
									78

足立 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 芸術 科目 生活の中の書道

教科： 芸術（書道） 科目： 生活の中の書道 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組

教科担当者： （A組：入山 ）

使用教科書： （ 光村図書 書 I ）

教科 書道 I の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各項目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

科目 生活の中の書道 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わったり捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	学	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
A 書写から書道へ 【知識及び技能】 ・書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○指導事項 ・小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを確認 ・臨書・鑑賞・創作の理解 ・用具用材の理解 ・それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈				○	○				6
B 文字の造形を学ぶ【楷書】 【知識及び技能】 ・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	○指導事項 書風の違いを理解させる。 ・九成宮醜泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑 方勢と円勢の違いについて ・牛欄造像記 ・鄭義下碑 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、参考作品				○	○				10
C 古典を生かした創作 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、古典から感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。	○指導事項 楷書を基に創作する 字書の扱い方 草稿の練り方 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、字書				○	○				11

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 家庭科 科目 生活と文化

教科： 家庭科 科目： 生活と文化 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組

教科担当者： (A組： 柿沼)

使用教科書： (図説家庭基礎 実教出版)

教科 家庭科 の目標：

【知識及び技能】教科書の内容を理解し、実生活を向上させることができる。

【思考力、判断力、表現力等】家庭生活や社会の課題を様々な観点から考え、自分なりの価値観を築いている。

【学びに向かう力、人間性等】授業に積極的に参加し、家庭生活や社会の課題解決に活かそうとしている。

科目 生活と文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
教科書の内容を理解し、実生活をふりかえることができる。	家庭生活や社会の課題を見つけ、解決しようとする。	家庭生活や社会について興味関心を持ち、よりよくするために学習する態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
1 学 期	5章 食生活をつくる 【知識及び技能】健康的な食生活をおくるための知識や技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】自身の食生活を分析し、課題を見つけ、判断し表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】現在・将来の自身や家族にとっての食生活の課題を、より良くするために学習する態度を身につけている。	・指導事項 ・私たちの食生活と健康 ・5大栄養素 ・食品の選択と表示 ・食品の衛生 ・食料自給率と食のグローバル化 ・食の未来と環境への取り組み ・食事摂取基準と食品群別摂取量のめやす ・献立作成 ・調理の基本 ・調理実習 - 準備・片付け・実習記録 - ・授業プリント・レポート	【知識・技能】教科書の内容を理解し、実生活をふりかえることができているかどうか。 ・プリント・レポートなどの内容 【思考・判断・表現】食生活の課題を見つけ、真剣に取り組み、解決しようとしているかどうか。 授業態度（授業準備・取組の様子・マナー） 【学びに向かう力、人間性等】食生活の課題について興味関心を持ち、協力して、安全・衛生・効率を考慮して作業ができたかどうか。 授業態度（授業準備・取組の様子・マナー） プリント・レポートなどの提出状況	○	○	○	27
2 学 期	6章 衣生活をつくる 【知識及び技能】健康的な衣生活をおくるための知識や技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】自身の衣生活を分析し、課題を見つけ、判断し表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】自分の現在の衣生活をふりかえり将来に向けてより良い生活を創造するために積極的に取り組む。	・指導事項 ・人と衣服とのかかわり ・衣服の機能 ・衣服の手入れ ・作品の制作 - 準備・片付け・実習記録 - ・教材 ・作品キット ・授業プリント・レポート	【知識・技能】教科書の内容を理解し、実生活をふりかえることができているかどうか。 製作品の完成度（努力点も含む） ・プリント・レポートなどの内容 【思考・判断・表現】衣生活の課題を見つけ、解決しようとしているかどうか。 授業態度（授業準備・取組の様子・マナー） 【学びに向かう力、人間性等】衣生活の課題について興味関心を持ち、協力して、安全・衛生・効率を考慮して作業ができたかどうか。 授業態度（授業準備・取組の様子・マナー） 提出状況	○	○	○	33
3 学 期	2章 子どもとかわる 【知識及び技能】健康で充実した生活を支えるための知識や技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】自らの生活や社会の課題を見つけ、判断し表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】自分の現在の生活をふりかえり将来に向けてより良い生活を創造するために積極的に取り組む。	・指導事項 ・子どもの誕生と発達 ・子どもの生活とあそび ・健やかに育つ環境と支援 ・子どもを守る法律・制度 ・授業プリントの記入 ・課題解決をし、レポートにまとめる。	【知識・技能】教科書の内容を理解し、実生活をふりかえることができているかどうか。 ・プリント・レポートなどの内容 【思考・判断・表現】家庭生活や社会の課題を見つけ、解決しようとしているかどうか。 【学びに向かう力、人間性等】家庭生活や社会課題について興味関心を持ち、より良くするために学習する態度を身につけているかどうか。	○	○	○	17
合計							78

